自然観察NOW

NO：57
野幌森林公園自然情報
発行：２０２１年６月１０日
北海道ボランティア・レンジャー協議会
ホームページ http://voluran.com/

シロチョウの仲間とコンロンソウ

この季節よく見かける風景を写真に撮ってみました。ご覧の通り白い蝶と白い花が写っています。

白い花の方はコンロンソウ。アブラナ科タネツケバナ属の多年草で低地～山地の林内や川沿いで生え、野幌森林公園でも遊歩道沿いの木漏れ日が当たるようなところで見られます。5月から6月にかけて咲き、白い十字型の花が印象的で白い小ぶりの花が多いこの季節でも草丈が 30～70cm 程あって割と目立つ方です。

ところで問題は蝶の方です。シロチョウの仲間であることは間違いないですが何という名の蝶でしょうか。候補としてはエゾスジグロシロチョウ(以下エゾスジ)、ヤマトスジグロシロチョウ(以下ヤマト)、スジグロシロチョウ(以下スジグロ)のそっくり３兄弟が挙げられます。

以前はこのグループもエゾスジとスジグロの 2 種だけだったので比較的解り易かったのですが、エゾスジを道東に分布するグループとし、道南と本州に分布するグループはヤマトスジグロシロチョウという和名をつけて別種とすることが提案され、新種誕生と相成りました。つまり北海道にはこの似通った 3 種が混在することになります。特にエゾスジとヤマトについては形態上の絶対的な区別点はないとされ、容易に交雑することも示されました。ＤＮＡ解析が進む中で形質データの解析も相まって現在も異種か亜種かの論議が続いており図鑑により(新旧によっても)記載内容は異なっています。ちなみに写真のモデルはヤマトスジグロシロチョウとしたいところですがいかがでしょうか。

分類問題はさておき、上記の３種のシロチョウはいずれもコンロンソウを食草としています。他にも野生種のアブラナ科の野生種も可であり遊歩道沿いで見かけたタネツケバナの

タネツケバナの仲間

仲間もこれも食べそうです。またコンロンソウ、フランスギク、シウリザクラでは吸蜜シーンを見ています。

シロチョウの仲間

シロチョウという名の蝶はいませんが前述の 3 種以外にもシロチョウの仲間がいるので何種類か紹介いたします。

モンシロチョウ	エゾシロチョウ	モンキチョウ
キャベツ、大根などが食草。	大ぶりな蝶で桜、リンゴ等で大発生し丸裸にすることがある。	黄色いがシロチョウの仲間
オオモンシロチョウ	ツマキチョウ	チョウセンシロチョウ
外来種。1995 年に採取されて大繁殖するも激減。寄生蜂のせい？	羽先がとがったシロチョウ。あまりみなくなりました。	迷蝶。1979 年に北海道日本海側河川敷で 1 年のみ繁殖。

Cyber 昆虫図鑑、公園昆虫記、Wikipedia ほか

<参考>

・北海道産 *Pieris* 属 3 種の形態上の差異について(1)
　—春型と *nesis* タイプ標本—　　　小田康弘
　　　蝶と蛾　Lepidoptera Sciens 67（2）: 41－57, October 2016
・岡山理科大学　生物地球学部　生物地球学科　　波田研ホームページ　2021/06/07
・二人の館　　2021/06/07
・Wikipedia　　　　　　　　　　　　　　　　他

6 月・7 月観察会の予定
6/10　森の新緑観察会　　　中止
6/13　前田森林公園観察会　　　中止
7 月　三角山登山観察会　西岡水源地自然観察会　　中止

文責　　　　藤田　潔